

新規作物がんこかぼちゃの生産・販売に挑戦

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県むつ市川内町 <small>かわうちまち</small> 畑 <small>はた</small>			
協 定 面 積 22.3ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	牧草	-	-	-
交 付 金 額 179万円	個人配分			50%
	共同取組活動分 (50%)	担当者活動経費		3%
		体制整備に要する経費		2%
		水路・農道等の維持管理費		34%
農用地の維持・管理に要する経費		11%		
協定参加者	農業者42人			

2. 集落マスタープラン及び農用地保全マップの概要

畑集落は、高齢化が進んでいることに加えて、水田が湿田で耕作条件が悪いことなどから、協定内の全面積を転作し、オーチャードグラスを作付けするなど、耕作放棄地の発生防止に努めてきた。

このような状況を踏まえ、女性や高齢者にもできる農業に取り組もうと、高付加価値型新規作物（がんこかぼちゃ）を生産・販売し、将来若者が地元で担い手となれるよう農業振興に取り組むことを目指して集落がまとまり、協定締結に至った。

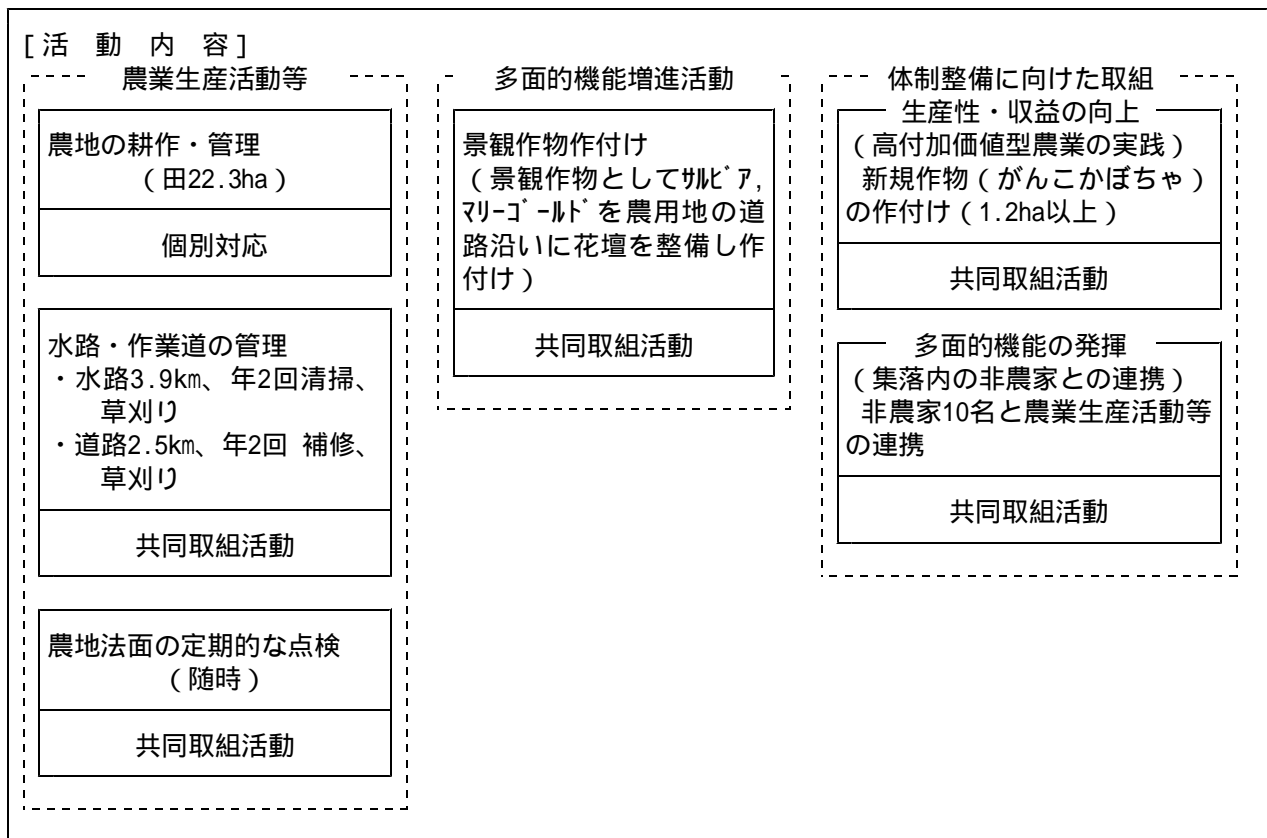
農用地保全マップは、湿田の作業性を確保するため機械等を活用した水路の泥上げ、草刈り（延長3.9km）の実施を進め利便性を高めとともに、農作業の効率化を図るため農道の草刈り及び砂利敷（延長2.5km）の補修を定期的に行うこととしている。



水路の草刈り



農道の補修



3. 取り組むべき事項の活動内容

高齢化が進むことによる維持管理が困難となることが想定されるため、地域全体で農地の維持管理及び集落機能を維持し、集落内の非農家10名と連携を取り、景観作物(サルビア、マリーゴールド)を農用地の道路沿いに花壇を整備し作付けすることとしている。

また、新規作物として「がんこかぼちゃ」を計画的に5年間で作付けし、生産・販売することとしている。

[平成21年度まで取り組む目標]

景観作物(サルビア・マリーゴールド)を農道沿い花壇2カ所(15m²×2)に植付け
高付加価値型農業の実践

がんこかぼちゃを新たに作付けする。

(現状:オチャードグラスを堆肥化し、協定農用地面積のほぼ100%に散布)

(目標:協定農用地の1.2ha(協定農用地面積5%))

非農家10名と連携して、景観作物を花壇を整備し作付。

(地区内の老人クラブと連携)

農地法面、水路、農道等の補修・改良

水路(3.9km)・農道(2.5km)の草刈り

水路3.9kmの泥上げ作業。農道5m巾、延長2.5kmの砂利敷補修。